

プレスリリース



**design koishikawa**

TAIJI FUJIMORI / SHIGEKI FUJISHIRO / SHIN-AZUMI  
TORAFU ARCHITECTS / KOICHI FUTATSUMATA  
DRILL DESIGN / KEIJI ASHIZAWA  
tempo X ECAL / Anthony MOORE

**17 Oct. - 3 Nov. 2017**



## デザインイベント 'gravity' 開催のお知らせ

---

今年初めて開催されるデザイナート、デザインウィーク期間中において、DESIGN 小石川では "gravity" = 重力 (引力) をテーマにした展覧会を行います。

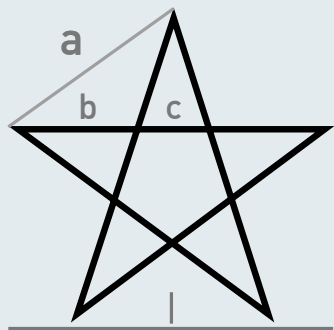
この展覧会は、英国人音楽家である Anthony Moore ( アンソニー・ムーア ) さんからのメール 「DESIGN 小石川においてサウンドインスタレーションを行えるか?」 から生まれたものです。アンソニー・ムーアさんは、かつてピンク・フロイドと協働し、ケルン・メディア芸術大学の学長でもありました。展覧会においては "gravity waves" というテーマでサウンドインスタレーションを行います。そして彼の音楽に満たされた DESIGN 小石川というガランとした空間において、軽やかな重力を感じるプロダクトの展示を 7 組のデザイナーと行います。

東京全体が会場となるデザインとアートの祭典 「DESIGNART」 の期間中、DESIGN 小石川で開催される最後の秋のデザインイベント 'gravity' にも是非ご注目ください。

- 音楽 Anthony Moore ( アンソニー・ムーア )
- デザイナー 藤森泰司、藤城成貴、安積伸、TORAFU ARCHITECTS、二俣公一、DRILL DESIGN、  
芦沢啓治、tempo x ECAL collaboration
- 日時 2017 年 10 月 17 日 ( 火 ) - 11 月 3 日 ( 金 )
  - 10 月 19 日 ( 木 ) 19:00-21:00 レセプションパーティー
  - 10 月 23 日 ( 月 ) 19:30-21:00 アンソニームーアによるギャラリートツアーならびにトーク
  - 11 月 02 日 ( 木 ) 17:30-21:00 東京お酒ナイト  
( 主催 : ジョースズキ、DESIGN 小石川、TAIYOU no SHITA )
- 主催 DESIGN 小石川
- 場所 DESIGN 小石川 ( 東京都文京区小石川 2-5-7 佐佐木ビル B 棟 2F )
- TEL 03-5689-5597 ( 芦沢啓治建築設計事務所内 )
- プレス [press@keijidesign.com](mailto:press@keijidesign.com)
- URL <http://designkoishikawa.com/gravity2017/>
- 協賛 カリモク、tempo (mother tool)、DESIGNART
- 協力 E&Y Co., Ltd.、石巻工房、super robot、安永哲郎、大城真、tebito

## “gravity waves” (重力の波)

インスタレーション by アンソニー・ムーア



### Part 1: 重力の波をつくる：

広いレコーディングスタジオの天井の最も高いところから、長い振り子が吊り下げられている。振り子の先端にはスピーカーが取り付けられていて、大きくランダムな円弧を書きながら揺れる。周りにはマイクが配置され、揺れ動く音が録音される。コントロールルームにあるミキシングボードのフェーダーはすべてユニティゲインのままにする。すなわち、遠くの音は小さいというだけでなく本当に遠く聞こえ、近づくにつれて次第に大きくなり、左から右への動きは実際の空間で起こるのであって、音声信号を左から右へとパンニングすることによって動かすのではない。音源が実際に動き続けるのだ。

### Part 2: インスタレーション：

リスナーは等間隔に置かれた五つのスピーカー（星型の5頂点）の内側に集まる。このインスタレーションは、音の振り子が大きな弧を描きながらリスナーの回りを揺れているような印象を与える。電子音響の構成は移ろうサウンドスケープ、振動、スピーチ、書く音、ノイズと音楽。音声再生する空間が小さくなればリスナーの数も当然少なくなり、スピーカーを小さく、あるいは少なくとも音量を小さくすることもできる。五つのスピーカーが発する音は多すぎない方がいい。作品は約50分の長さで、エンドレスループされる。



アンソニー・ムーア  
Anthony Moore

1948 生まれ、作曲家で元ケルン・メディア芸術大学の教授。芸術・メディア学科において音の理論・歴史を専攻。当初、メディアにおける聴覚デザインの教授で、音楽学部の創立者でもあった彼は、2000-2004 の間に同アカデミーの学長に選ばれている。国際賞を受賞した数多くの音楽作品、サウンドインスタレーション、および映画音楽の作曲家でもある。1972 年バンド「スラップ・ハッピー」創設。3 枚のアルバムの録音中にピンク・フロイドと共同作詞し、コンセプトや歌詞制作に取り組む。オペラ「カメラ」の作曲家。ポリグラムは、彼の作品「Cloudland Ballroom」、[Blue Bag の秘密]、「Reed, Whistle & Sticks」の3 枚のアルバムを収録。また、国際的なサウンドイベントやシンポジウム "per-> SON" と "Nocturnes" の創始者でもある。講義のほかに、彼は執筆、作曲、演奏を続けている。

(左) アンソニー・ムーアとネコ  
(中) スラップ・ハッピーの「カサブランカ」  
(右) ピンク・フロイドとコラボレーション「幻の翼」



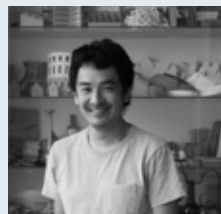
\* 今回の展示のきっかけをつくっていただいた Sheridan Coakley (シェリダン・コークリー)さんに心から感謝とお礼を申し上げます。

# デザイナー



藤森 泰司  
Taiji Fujimori

家具デザイナー。1967年生まれ。1999年に藤森泰司アトリエ設立。家具デザインを中心に据え、建築家とのコラボレーション、プロダクト・空間デザインを手がける。近年は図書館などの公共施設への特注家具をはじめ、ハイブランドの製品から、オフィス、小中学校の学童家具まで幅広く手がけ、スケールや領域を超えた家具デザインの新しい在り方を目指して活動している。グッドデザイン特別賞など受賞多数。



藤城 成貴  
Shigeki Fujishiro

桑沢デザイン研究所夜間部を卒業。1998年より株式会社イデーに入社、定番商品及び特注家具のデザインを担当。2005年に退社、自身のスタジオshigeki fujishiro designを設立。プライウッドメーカーSAITO WOODのディレクターを務めるほか、HERMES petit h、HAY、adidas、2016/aritaなどのコラボレーションで国際的な注目も集めている。第21回桑沢賞受賞。



安積 伸  
Shin Azumi

1965年神戸生まれ。89年京都市立芸術大学卒業、94年英国王立美術大学修士課程修了。その後ロンドンを拠点とし95年よりデザインユニット「AZUMI」として活動。05年に個人事務所「a studio」設立。T-fal(仏)やIapalma(伊)など多くの国際的企業へプロダクトデザインを提供する。FX国際デザイン賞プロダクトオブザイヤー(英)をはじめ国内外で数多くの賞を受賞し、審査員としてもiF賞(独)などに参加。「LEM」ツールがV&A博物館(英)のパーマネントコレクションに選ばれるなど、各地の美術館に作品が収蔵されている。2016年より日本に拠点を移し、法政大学デザイン工学部システムデザイン学科教授に就任。



トラフ建築設計事務所  
TORAFU ARCHITECTS

鈴野浩一(すずの こういち)と禿真哉(かむろ しんや)により2004年に設立。建築の設計をはじめ、インテリア、展示会の会場構成、プロダクトデザイン、空間インスタレーションやムービー制作への参加など多岐に渡り、建築的な思考をベースに取り組んでいる。主な作品に「テンプレートインクラスカ」「NIKE 1 LOVE」「港北の住宅」「空気の器」「ガリバーテーブル」「Big T」など。「光の織機(Canon Milano Salone 2011)」は、会期中の最も優れた展示としてエリートデザインアワード最優秀賞に選ばれた。2015年「空気の器」が、モントリオール美術館において、永久コレクションに認定。2011年「空気の器の本」、作品集「TORAFU ARCHITECTS 2004-2011 トラフ建築設計事務所 アイデアとプロセス」(ともに美術出版社)、2012年絵本「トラフの小さな都市計画」(平凡社)、2016年「トラフ建築設計事務所 インサイド・アウト」(TOTO出版)を刊行。



Throughout (2011) Torafu photo: Ryota Fujimori



knit



Quart



AA-STOOL (2012)



RNN (2011), reflex



RIB series (IDEE)



NARA Chair



空気の器 (2009)

# デザイナー



二俣 公一  
Koichi Futatsumata

空間・プロダクトデザイナー。1975年鹿児島生まれ。福岡と東京を拠点に、空間デザインを軸とするCASE-REAL、プロダクトデザインに特化するKOICHI FUTATSUMATA STUDIOを主宰。インテリア・建築から家具・プロダクトに至るまで多岐に渡るデザインを手がける。主なプロダクト作品に「valerie\_objectsのためのカトラリー (valerie\_objects/2015)」「HYGGE BOARD (SKAGEN/2015)」「Elder\_ARAOKAGANKYO (荒岡眼鏡/2017)」「SHOE STOOL (Opinion Ciatti/2014)」「in the sky (E&Y/2010)」「HAMMOCK (E&Y/2009)」等がある。また「22 (EK JAPAN/2009)」はサンフランシスコ近代美術館のパーマネントコレクションに選定されている。



ドリルデザイン  
DRILL DESIGN

林裕輔と安西葉子によるデザインスタジオ。2001年設立。プロダクトデザインを中心に、グラフィック・パッケージ・空間デザインなど、カテゴリーを超えてデザインとディレクションを行う。アートディレクション、ブランディングデザイン、素材開発、用途開発、技術開発の協力などの段階からプロジェクトに参加することも多く、クライアントと共に新しいデザインの可能性を広げている。また、日本の技術や素材をデザインを通して商品化し、世界へ向けて発信することも積極的に行っている。これまでに、Canon、MUJI、Camper、Mercedes Benz、TIME&STYLEなど国内外の様々なメーカーにデザインを提供し、東京、シンガポール、ミラノ、パリ、ストックホルムなどの都市で展覧会に出品している。Red Dot Design Award、German Design Award、Good Design Special Award、Design For Asia Awardなど受賞歴多数。



芦沢 啓治  
KEIJI ASHIZAWA

1996年横浜国立大学建築学科卒業。architecture WORK-SHOP、金物工房super robot勤務を経て、2005年芦沢啓治建築設計事務所設立。国内外の建築プロジェクト、家具ブランド、デザインギャラリーとの仕事の傍ら2011年石巻工房設立。2014年に家具ブランドとして会社化、代表取締役就任。主に建築(オフィスビル、住宅、集合住宅、リノベーションなど)、家具、プロダクトのデザインまで手がける。



SHOE STOOL (2013)  
photo: 水崎浩志



place to be (2015), Tempo  
photo: Ryoukari Abai



GRAVITY LIGHT (2007)  
photo: Takami Otsu



valerie\_objectsのためのカトラリー (2016)  
photo: Senne Van Der Ven and Inge Rylant



HYGGE BOARD (2015) SKAGEN & SKAGEN  
photo: Henrik & Henrik



SUTOA (2011)  
photo: Franzi CPH

### 「動く：Work in Progress」

ブルーノ・ムナーリによって愛情をもって「使い道のない器具」と表現されたモビールは、自由に絶え間ない動きを行うバランスによって成り立つ、動く彫刻的な構造物である。それは、空気の一瞬を魔法のように視覚化させる。

栃木県足利市を拠点とするモビールブランド tempo (mother tool) との協働により、ローザヌ美術大学 (ECAL)、工業デザイン学科 2 年に在籍する学生たちが、日本滞在期間に得た異なる製造技術や知識、地元の素材を元にモビールを制作する。

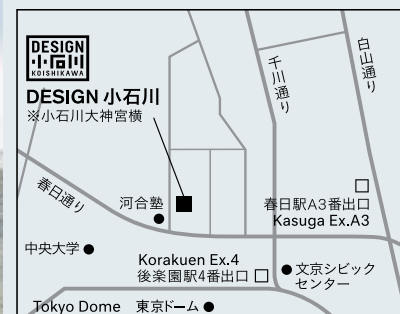


## DESIGN 小石川について

2016年7月、東京都文京区の小石川に、デザインと街を結ぶゲートとして機能するギャラリーとマーケットプレイス「DESIGN小石川」が誕生しました。文豪ゆかりの地として知られる、小石川。周辺には東京ドームや高層ビル群と昔ながらの商店街、閑静な住宅地や小さな印刷工場が混在し、来訪者を飽きさせません。しかし、再開発と産業構造の変化によって、この街は大きく変貌を遂げようとしています。小石川の地で、街とデザインをつなぎ、これからの可能性を拓けることを一つの目的として、ギャラリーと複数のマーケットプレイスからなる「DESIGN小石川」をオープンしました。広大なフロアにはギャラリーのほか、家具や生活にまつわるアイテムをセレクトした「TAIYOU no SHITA」を併設。マーケットプレイス内には、着生蘭を専門に取り扱う植物店「B.U.D」、厳選された食材を取り扱う「PLAIN COMPANY」も出店します。「DESIGN小石川」では、さまざまなデザインイベントに加え、地元商店主と開催するウィークエンドマーケットなどを開催しています。この場で繰り広げられるインディペンデントなデザイン活動は、国内だけでなく世界中の人々にとっても「新しい東京の顔」となっていくことを目指しています。



DESIGN 小石川  
〒112-0002 東京都文京区小石川2-5-7  
佐佐木ビルB棟 2F  
TEL: 03-5689-5597



### アクセス

東京メトロ各線  
「後楽園駅」4番口より  
徒歩3分

都営地下鉄各線  
「春日駅」A3番口より  
徒歩7分

PRESS RELEASE



**design koishikawa**

TAIJI FUJIMORI / SHIGEKI FUJISHIRO / SHIN-AZUMI  
TORAFU ARCHITECTS / KOICHI FUTATSUMATA  
DRILL DESIGN / KEIJI ASHIZAWA  
tempo × ECAL / Anthony MOORE

**17 Oct. - 3 Nov. 2017**





## 'gravity' Event Information

---

This year in parallel with the launching of DESIGNART for the DESIGN WEEK, exhibition "gravity" to be kicked off in DESIGN Koishikawa!

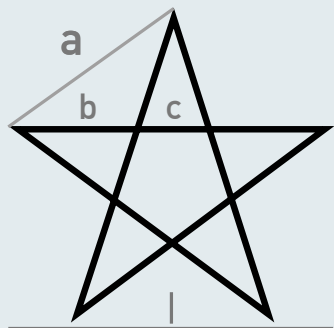
"Is there a possibility to run an installation in DESIGN Koshikawa?", a simple e-mail from Anthony Moore, an English composer has triggered this state-of-the-art exhibition. Co-writer with Pink Flyod during the recording of 3 albums, also former professor at the Academy of Media Arts (KHM) Cologne, specialized in the Theory and History of Sound. Themed "gravity waves", his sound installation floods the bare space in DESIGN Koishikawa, where 7 groups of designer exhibit their works presenting Lightness & Gravity. In DESIGN Koishikawa, collaboration between space- music-product - an avant-garde exhibition "gravity" shall not to be missed!

- **Music** Anthony Moore
- **Designer** Taiji Fujimori, Shigeki Fujishiro, Shin Azumi, TORAFU ARCHITECTS,  
Koichi Futatsumata, DRILL DESIGN, KEIJI ASHIZAWA, tempo x ECAL collaboration
- **Date & Time** 2017 October 17 ( Tue ) - November 3rd ( Fri )
  - October 19 ( Thu ) 19:00 - 21:00 Reception Party
  - October 23 ( Mon ) 19:30 - 21:00 Gallery Tour & Talk by Anthony Moore
  - November 2 ( Thu ) 17:30 - 21:00 Tokyo Osake Night  
(Organized by Tokyo Joe's, DESIGN Koishikawa, Taiyou no Shita)
- **Organizer** DESIGN Koishikawa
- **Location** DESIGN Koishikawa  
(Tokyo Bunkyo-ku Koishikawa 2-5-7 Sasaki-Biru B Block 2F)
- **TEL** +81 (0)3 56895597 (Keiji Design)
- **Press** press@keijidesign.com
- **URL** <http://designkoishikawa.com/gravity2017/>
- **Sponsor** KARIMOKU, tempo (mother tool), DESIGNART
- **Partnership** E&Y Co., Ltd., Ishinomaki Laboratory, super robot, Tetsuro Yasunaga, Makoto Ooshiro, tebito

# MUSIC

## “GRAVITY WAVES”

an installation by Anthony Moore

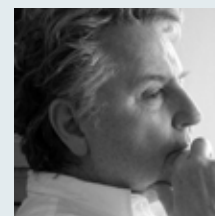


### Part I: The Making of Gravity Waves

A long pendulum is suspended from the highest point in the ceiling of a large recording studio. A loudspeaker is attached to the end of the pendulum which is then swung in wide, random arcs. Through this neverstill loudspeaker an electro-acoustic composition is played. Arrays of microphones are set up around the studio to record the swinging sound. In the control room all the faders on the mixing desk remain untouched at unity gain. This means distant sounds are truly distant and not just softer; closer sounds are naturally louder and movements from left to right happen in physical space, not by panning the signal left or right on the desk. It is the actual sound source that moves continuously.

### Part 2: The Installation

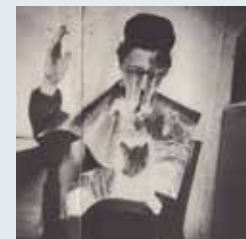
The audience of listeners are gathered inside a circle of 5, equi-distant loudspeakers (the 5 points of a pentagram). The installation gives the impression that a virtual, acoustic sound-pendulum is swinging in wide arcs around the listeners. The content is an electro-acoustic composition consisting of shifting soundscapes, oscillators, speech, the sound of writing, noise and music. The size and shape of the playback room determines the size of loudspeakers, how far apart they are spaced and the loudness of the playback. For good localisation of sound it can better if the volume of the 5 channels is not too loud. The composition lasts approximately 50 minutes



アンソニー・ムーア  
Anthony Moore

Born in 1948, a composer & former professor at the Academy of Arts (KHM) Cologne, Department of Art and Media Sciences, specialized in The Theory and History of Sound.

Initially professor for Auditive Design in the Media & founder of the Music Department, he was elected Rector of the Academy in Cologne between 2000-2004. Composer of numerous music pieces, sound installations and film compositions which have received international prizes; 1972 founder of the band SLAPP HAPPY; co-writer with PINK FLOYD during the recording of 3 albums, working on concepts and lyrics; composer of television opera "Camera"; Polygram recorded 3 albums of his work, "Cloudland Ballroom", "Secrets of the Blue Bag", "Reed, Whistle & Sticks". Also founder of international sound events and symposia, "per->SON" & "Nocturnes". Besides lecturing he continues to write, compose and perform.



(Left) Amooore with Cat  
(Middle) Slapp Happy "Casablanca"  
(Right) Collaboration with Pink Floyd "Learning to Fly"

\* Greatest thanks to Sheridan Coakley to bring us together & allow this amazing collaboration to happen !

# DESIGNERS



藤森 泰司  
Taiji Fujimori

Furniture Designer; Born in 1967. Established TAIJI FUJIMORI ATELIER (1999). Professionally disciplined in furniture design, explored product & spatial design through collaboration with architects. Aspired to breakthrough, being recently commissioned for customized design for a library, the practice attends to great scale of furniture production, from luxury to offices and schools. Received numerous awards such as the Good Design Award's Special Award.



Throughout (2011) photo: Ryosuke Abe



RNN (2011), orflex



藤城 成貴  
Shigeki Fujishiro

Graduated from Kuwasawa Design School. Joined IDEE Co.,Ltd. in 1998 as a designer of standard and customized furniture. Left IDEE in 2005 to establish personal studio, shigeki fujishiro design. Collaborated with HERMÈS petit h, HAY, adidas and 2016/arita. Awarded in the 21<sup>st</sup> Kuwasawa Award.



knob



RIB series (IDEE)



安積 伸  
Shin Azumi

Born in Kobe, 1965. Graduated from Kyoto City University of Arts (1989); Royal College of Art Master Course, England (1994). Set up "AZUMI" design unit in London, followed by establishing private office "a studio" (2005). Delivers product designs to international corporations such as T-fal (France) & lapalma (Italy); awarded as Designer of the Year in FX International Design Award & numerous others both locally & internationally; as well as invited as a judge for iF Award (Individual). The Stool "LEM" is being showcased as permanent collection in V&A Museum and several other galleries globally. In consequence to his appointment as a lecturer in Hosei University, Faculty of Engineering and Design, "AZUMI" moved to Japan in 2015.



Quart



NARA Chair



トラフ建築設計事務所  
TORAFU ARCHITECTS

Established in 2004 by Suzuno Koichi & Kamuro Shinya. Its architectural notion expands into interior, exhibition curation, product design, spatial installation & movie production. Featured works include "Template in Claska" "NIKE1 LOVE" "Residential in Kouhoku" "The Ware of Air" "Gulliver Table" "Big T" & etc. "Weaver of Light (Canon, Milano Salone 2011)" received Elite Design Award; commendation as permanent collection of "The Ware of the Air" in Montreal Museum of Fine Arts (2015). Published "The book of the Ware of Air" (2011), Work Portfolio "TORAFU ARCHITECTS 2004-2011 IDEA + PROCESS" (Bijutsu Shuppan-sha), Artbook "TORAFU's Small City Planning" (Heibonsha - 2012); "TORAFU ARCHITECTS Inside Out" (TOTO Publishing - 2016).



AA STOOL (2012)



器の器 (2009)

# DESIGNERS



二俣 公一  
Koichi Futatsumata

Space / Product Designer. Born in Kagoshima, 1975. Based in Fukuoka & Tokyo, leads CASE-REAL of spatial design; KOICHI FUTATSUMATA STUDIO of product design. From Architecture & Interior design diverging furniture & product design, his featured works include "Cutleries for valerie\_objects (valerie\_objects/2015)" "HYGGE BOARD (SKAGEN/2015)" "Elder\_ARAOKAGANKYO (Aroaka Optics/2017)" "SHOE STOOL (Opinion Ciatti/2014)" "in the sky (E&Y/2010)" "HAMMOCK (E&Y/2009)" and etc. "22 (EK JAPAN/2009)" was selected as a permanent collection of San Francisco Museum of Modern Art (SFMOMA).



SHOE STOOL (2013)  
photo : 水崎浩志



Cutleries for valerie\_objects (2016)  
photo : Senne Van Der Ven and Inge Rylant



ドリルデザイン  
DRILL DESIGN

Design Studio led by Yusuke Hayashi & Yoko Yasunishi, established in 2001. Branched from Product design, multi-disciplinary approach was undertaken into graphics, packaging, spatial design & etc. Challenging design limitation in projects' art direction, branding, material, function & technical development, brought forth powerful messages of Japan's technology to the global market. Collaborated with numerous local & international makers, namely Canon, MUJI, Camper, Mercedes Benz, TIME&STYLE & etc. Works were exhibited in Tokyo, Singapore, Milano, Paris, Stockholm & several other cities. Numerous awards received, including Red Dot Design Award, German Design Award, Good Design Special Award & Design For Asia Award.



place to be (2015), Tempo  
photo : Ryoukari Aiba



CHAIR (2015), TIME & STYLE  
photo : Frank & Stella



芦沢 啓治  
KEIJI ASHIZAWA

Graduated in Yokohama National University (1996), followed by professional pursuit in design office, *architecture WORKSHOP* as well as in a furniture production workshop, *super robot*. Established "Keiji Ashizawa Design" (2005) and "Ishinomaki Laboratory" (2011). Disciplined in Architecture (offices, residential, mass housing, renovation and etc), from local to international projects, the practice also actively involves in gallery curation, furniture & product design. Ishinomaki Laboratory gained its furniture branding as an official company, and the practice was elected as the CEO.



GRAVITY LIGHT (2007)  
photo : Takami Otsu



SUTOA (2011)  
photo : Franki CP14

## tempo x ECAL

---

Fondly described by Bruno Munari as "Useless Machines", mobiles are kinetic sculptures constructed in a way to balance freely in perpetual motion, thus magically making air appear visible for a moment.

In collaboration with the mobile brand tempo (mother tool), based in Ashikaga City, Tochigi Prefecture, 2nd year Bachelor Industrial Design students from ECAL/ University of Art and Design Lausanne were asked to create mobiles based on different production techniques and know-how sourced during their journey in Japan.

Under the guidance of designer Nicholai Wiig-Hansen, the projects of the students are exhibited here as a "work in progress" showcasing models, prototypes, samples and material research they achieved during their time in Ashikaga and Tokyo.



## About DESIGN Koishikawa

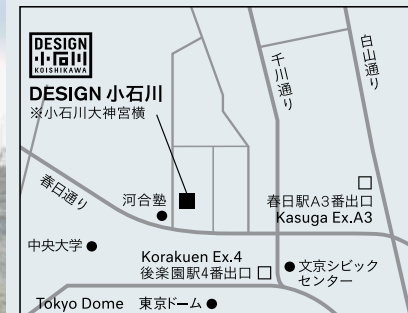
In July 2016, DESIGN Koishikawa was opened. In the place known as the Place of Literature, Koishikawa, Bunkyo-ku, the gallery-market serves as a gateway connecting Design & Street. Weaved among the impressive Tokyo dome and skyscrapers, old shophouses, serene residencials and small-scale printing workshops infiltrate its streets - a district filled with livelihood and interests.

In concurrent with the industrial shift in the re-development of city, Koishikawa is undergoing a transition of its image. Upon introduction of design to the street, the opening of DESIGN Koishikawa activates Koishikawa to future of great possibilities.

Asides from the gallery space, the spacious location also features selected Furniture and home improvements in affiliated "TAIYOU no SHITA". Specialty stores with Epiphytal Orchid by "B.U.D" and fine selection of culinary ingredients by "PLAIN COMPANY" shall also not to be missed. On top of variety of design events, weekend market hosted by local merchants are held in the space. DESIGN Koishikawa as a locus of independant operation promotes "New Face of Tokyo" not only in Japan, but also to the world abroad.



**DESIGN Koishikawa**  
〒112-0002 Tokyo Bunkyo-ku Koishikawa2-5-7  
Sasaki-Biru B Block 2F  
TEL: +81 (0)3 56895597



### Access

3 mins from  
Tokyo Metro Lines  
"Korakuen St." Exit 4

7 mins from  
Toei Subway Lines  
"Kasuga St." Exit A3